

第5章

良好な景観形成のための行為の制限に関する事項

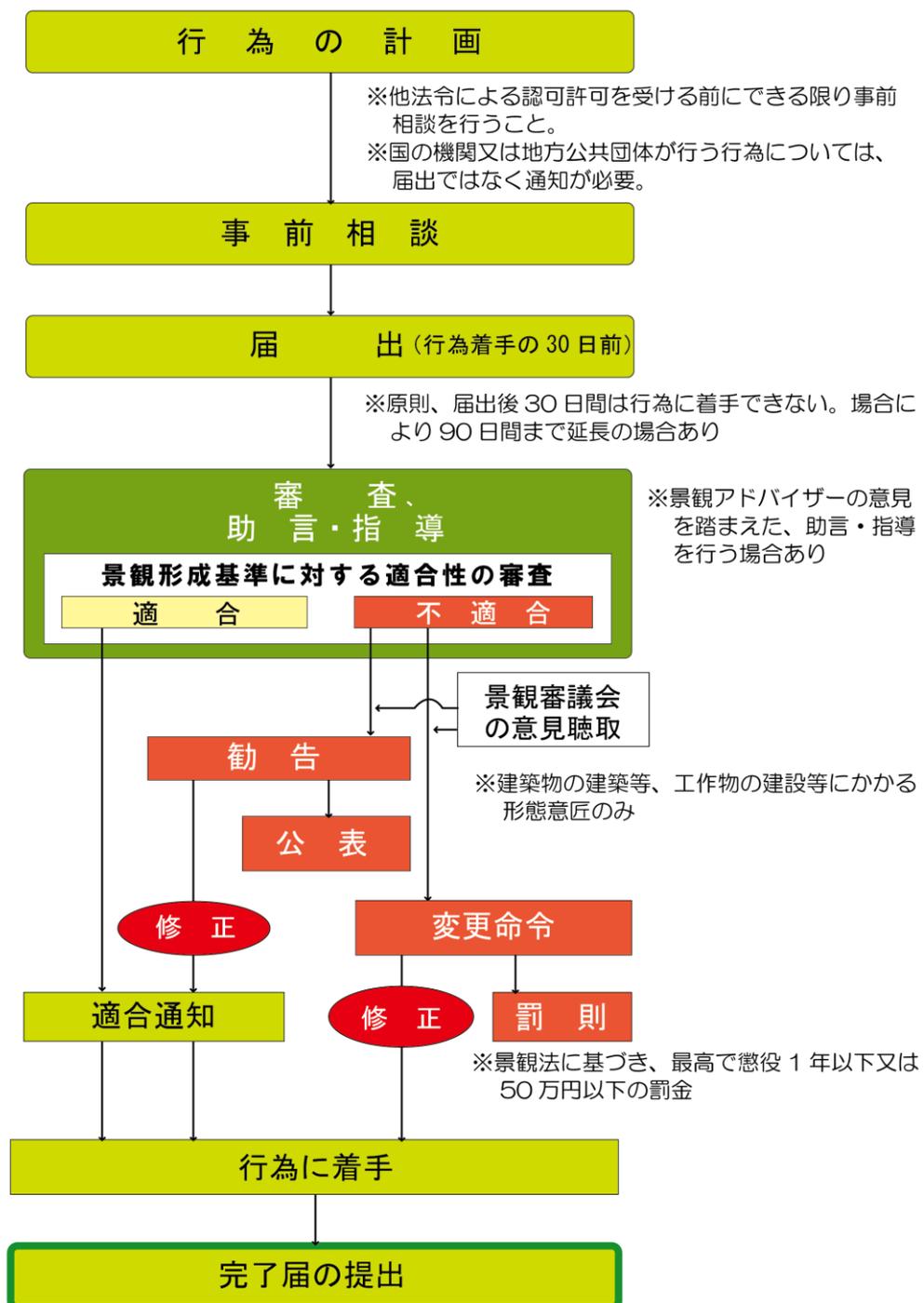
第5章 良好な景観形成のための行為の制限に関する事項

5.1 景観誘導の基本的な考え方

本計画では、市全域で行われる、景観に与える影響が大きいと考えられる一定規模以上の建築行為や開発行為等に対し、景域ごとの景観形成基準を定め、緩やかな景観誘導を実施します。

また、地区レベルにおいて、すでに特徴ある景観を有している地区や、本市の景観形成において重要な役割を有する地区等については、「景観形成重点地区」として指定し、一般基準とは別個の、地区の特性に応じたきめ細かなルールを設け、積極的な景観形成を推進します。

5.2 届出の流れ



5.3 届出対象行為

良好な景観形成に向け、本市において届出の対象として景観形成基準に基づく審査の対象となる行為は、以下のとおりとします。

なお、景観形成重点地区では、地区の特性を考慮し、個別に適切な届出対象規模を設定します。

【届出対象行為（市全域）】

届出が必要な行為		市街地の景域	田園・集落地の景域	丘の景域
建築物	新築、増築、改築又は移転	建築物の行為に係る部分の延床面積の合計が 500 m ² 以上又は高さが 10m 以上のもの		
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	上記の建築物で、外観変更に係る見付面積※の合計が全体の見付面積の 1/2 以上のもの		
工作物	新築、増築、改築又は移転	塔状工作物※	行為に係る工作物の高さが 10m 以上のもの ※ただし電柱を除く（無彩色のものに限る）	
		製造施設、貯蔵施設、処理施設、遊戯施設、太陽光発電設備等	行為に係る工作物の高さが 10m 以上又は築造面積が 500 m ² 以上のもの	
	垣、柵、塀、擁壁	行為に係る工作物の高さが 5m 以上のもの		
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	上記の工作物で、外観変更に係る見付面積の合計が全体の見付面積の 1/2 以上のもの		
(3) 都市計画法に基づく開発行為		行為に係る土地の面積の合計が 1,000 m ² 以上のもの	行為に係る土地の面積の合計が 3,000 m ² 以上のもの	
(4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更		行為に係る土地の面積の合計が 1,000 m ² 以上のもの	行為に係る土地の面積の合計が 3,000 m ² 以上のもの	
(5) 外観照明 夜間において一定の期間継続して建築物その他の工作物の外観について行う照明		届出対象建築物又は届出対象工作物の外観について照射する照明		

※見付面積：建築物（工作物）の張り間方向又はけた行方向の鉛直投影面積（建築基準法施行令第 46 条第 4 項）。

※塔状工作物：煙突、鉄筋コンクリートの柱、鉄柱、木柱、装飾塔、記念塔、高架水槽、サイロ及び物見塔

【届出対象行為（景観形成重点地区）】

1) 小郡駅前地区

地区内の景観特性に応じて、「歴史的景観形成地区」、「賑わい景観創出地区」に区分し、それぞれ届出対象の規模を定めます。

「歴史的景観形成地区」は、「旧小郡村役場」や「平田家住宅」、「三根家住宅」をはじめとする歴史的建造物や神社・寺院等が立地しており、これらの歴史的資源を生かしたきめ細かな景観誘導を図っていく必要があることから、届出対象は規模に関わらず全てのものとします。

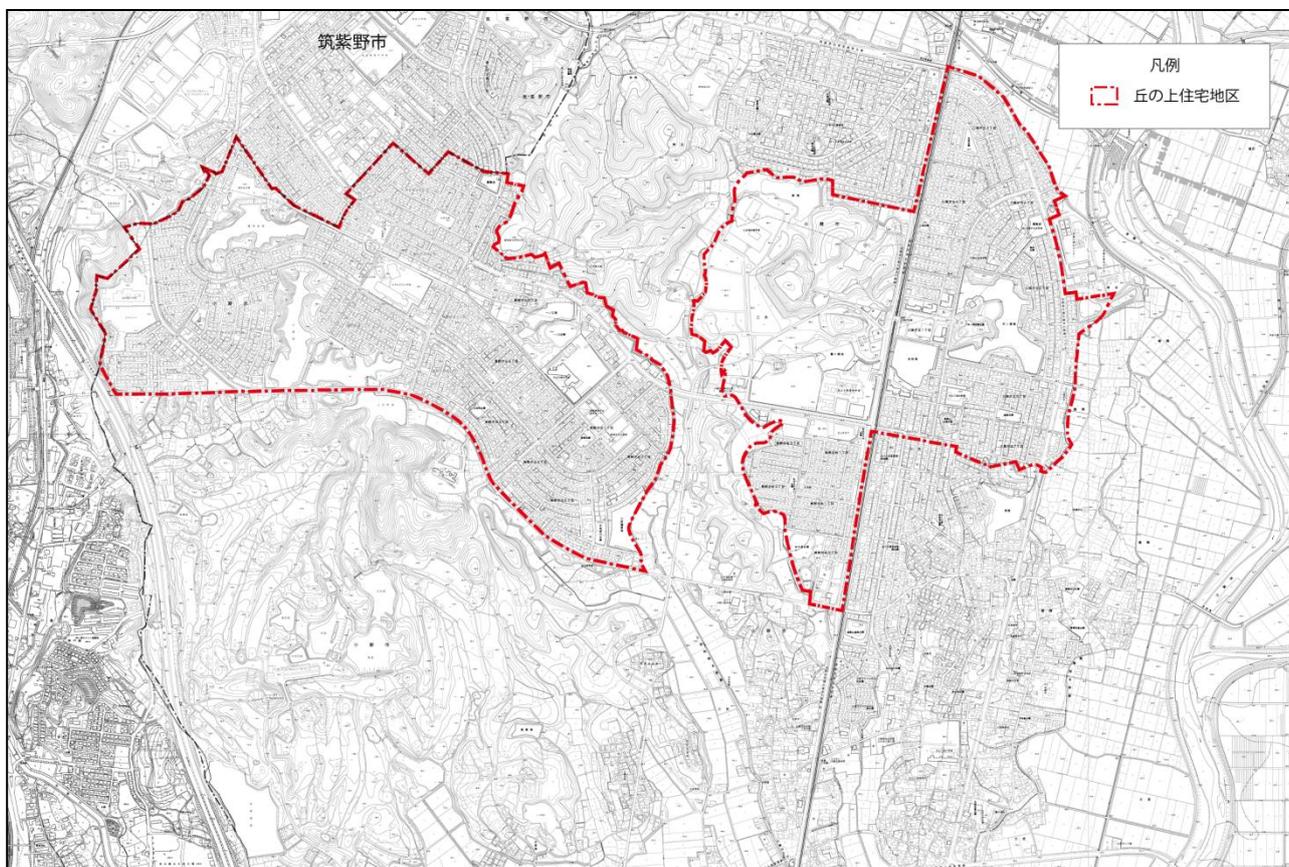
「賑わい景観創出地区」は、市街地の景域の届出対象規模に準拠します。

届出が必要な行為		歴史的景観形成地区	賑わい景観創出地区
建築物	新築、増築、改築又は移転	規模に関わらず全てのもの	建築物の行為に係る部分の延床面積の合計が 500 m ² 以上又は高さが 10m 以上のもの
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	規模に関わらず全てのもの	上記の建築物で、外観変更に係る見付面積の合計が全体の見付面積の 1/2 以上のもの
工作物	新築、増築、改築又は移転	塔状工作物	行為に係る工作物の高さが 10m 以上のもの
		製造施設、貯蔵施設、処理施設、遊戯施設、太陽光発電設備等	行為に係る工作物の高さが 10m 以上又は築造面積が 500 m ² 以上のもの
		垣、柵、塀、擁壁	行為に係る工作物の高さが 5m 以上のもの
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	規模に関わらず全てのもの	上記の工作物で、外観変更に係る見付面積の合計が全体の見付面積の 1/2 以上のもの
(3) 都市計画法に基づく開発行為		規模に関わらず全てのもの	行為に係る土地の面積の合計が 1,000 m ² 以上のもの
(4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更		規模に関わらず全てのもの	行為に係る土地の面積の合計が 1,000 m ² 以上のもの
(5) 外観照明 夜間において一定の期間継続して建築物その他の工作物の外観について行う照明		届出対象建築物又は届出対象工作物の外観について照射する照明	

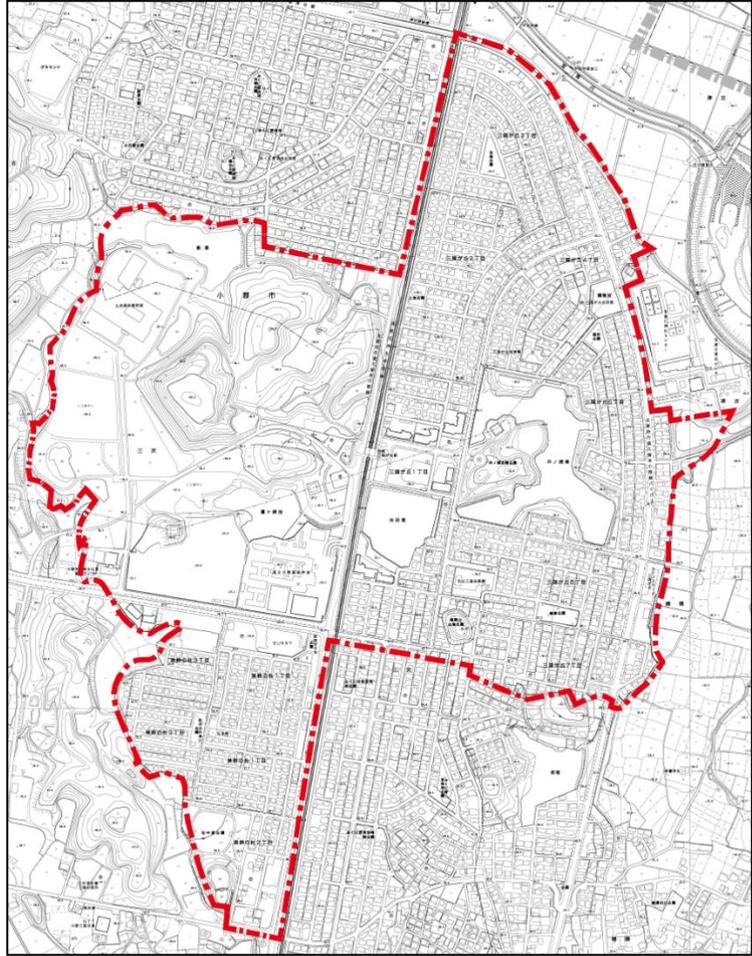
2) 丘の上住宅地区

本地区は、良好で緑豊かな住宅地の景観の保全・形成を積極的に図っていく必要があることから、届出対象は規模に関わらず全てのものとします。

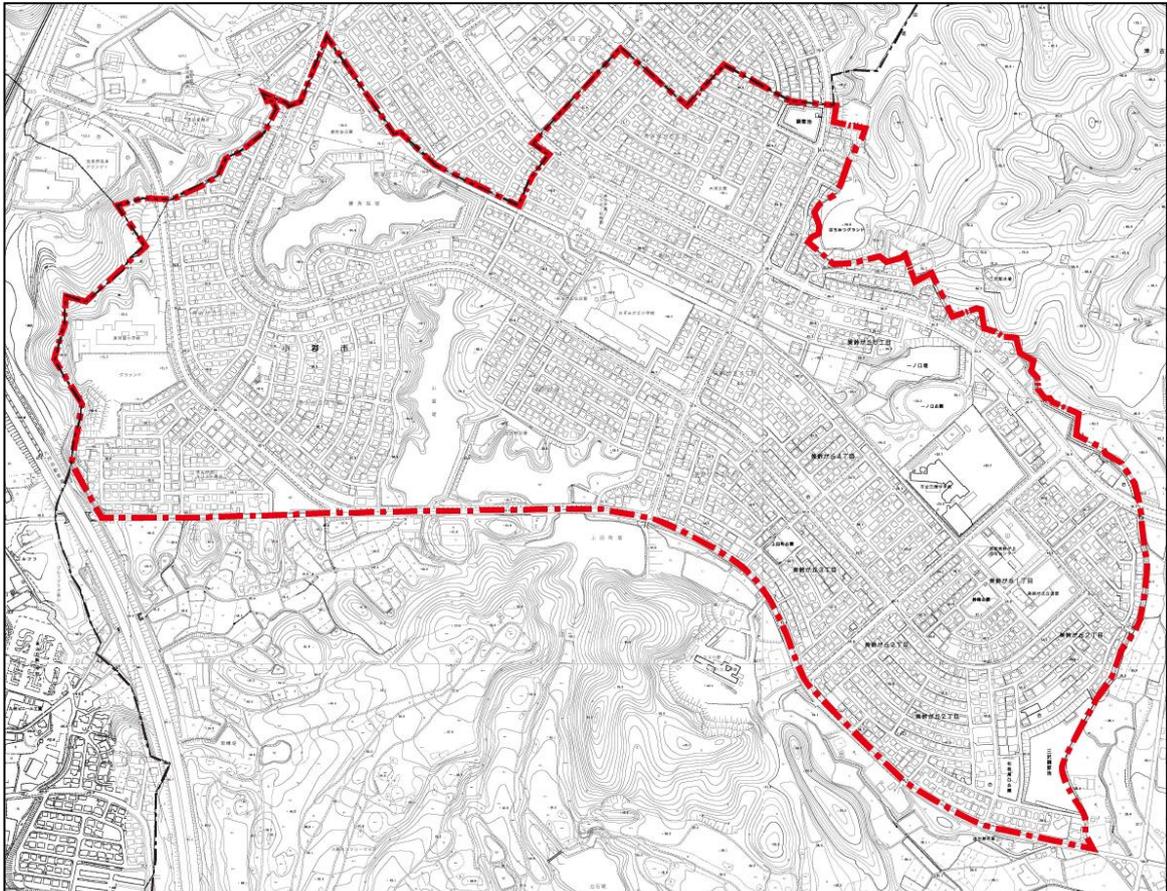
届出が必要な行為		対象規模
建築物	新築、増築、改築又は移転	規模に関わらず全てのもの
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	規模に関わらず全てのもの
工作物	新築、増築、改築又は移転	規模に関わらず全てのもの
	塔状工作物	規模に関わらず全てのもの
	製造施設、貯蔵施設、処理施設、遊戯施設、太陽光発電設備等	規模に関わらず全てのもの
	垣、柵、塀、擁壁	規模に関わらず全てのもの
外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更		規模に関わらず全てのもの
(3) 都市計画法に基づく開発行為		規模に関わらず全てのもの
(4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更		規模に関わらず全てのもの
(5) 外観照明 夜間において一定の期間継続して建築物その他の工作物の外観について行う照明		届出対象建築物又は届出対象工作物の外観について照射する照明



▲丘の上住宅地区 位置図



【拡大図①】

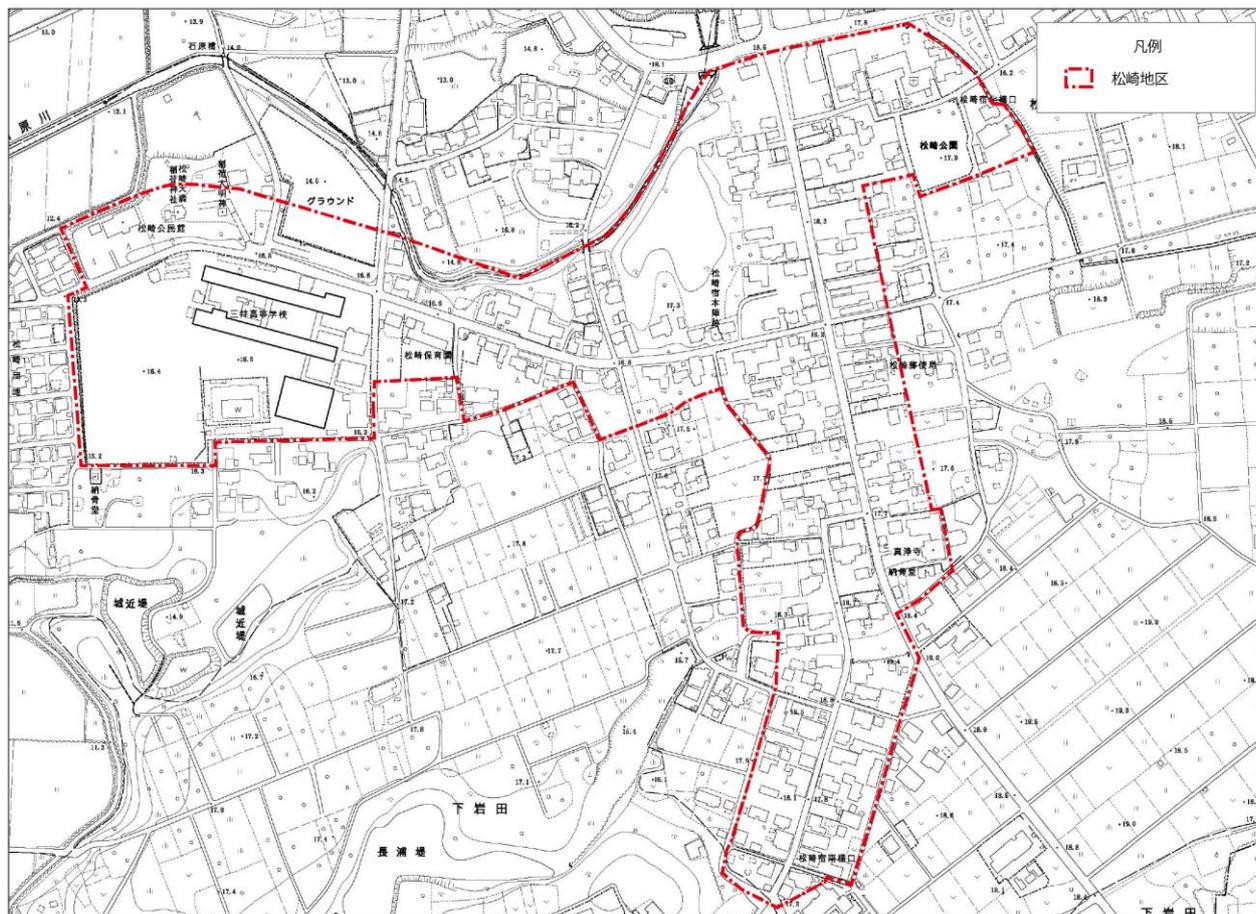


【拡大図②】

3) 松崎地区

本地区は市街化調整区域に位置し、当該地区を含む区域を対象とした地区計画を策定しているところです。地区計画との整合を図りつつ、歴史的資源を生かしたきめ細かな景観誘導を図っていくことが必要であることから、届出対象は規模に関わらず全てのものとします。

届出が必要な行為		対象規模	
建築物	新築、増築、改築又は移転	規模に関わらず全てのもの	
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	規模に関わらず全てのもの	
工作物	新築、増築、改築又は移転	塔状工作物	規模に関わらず全てのもの
		製造施設、貯蔵施設、処理施設、遊戯施設、太陽光発電設備等	規模に関わらず全てのもの
	垣、柵、塀、擁壁	規模に関わらず全てのもの	
外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更		規模に関わらず全てのもの	
(3) 都市計画法に基づく開発行為		規模に関わらず全てのもの	
(4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更		規模に関わらず全てのもの	
(5) 外観照明 夜間において一定の期間継続して建築物その他の工作物の外観について行う照明		届出対象建築物又は届出対象工作物の外観について照射する照明	

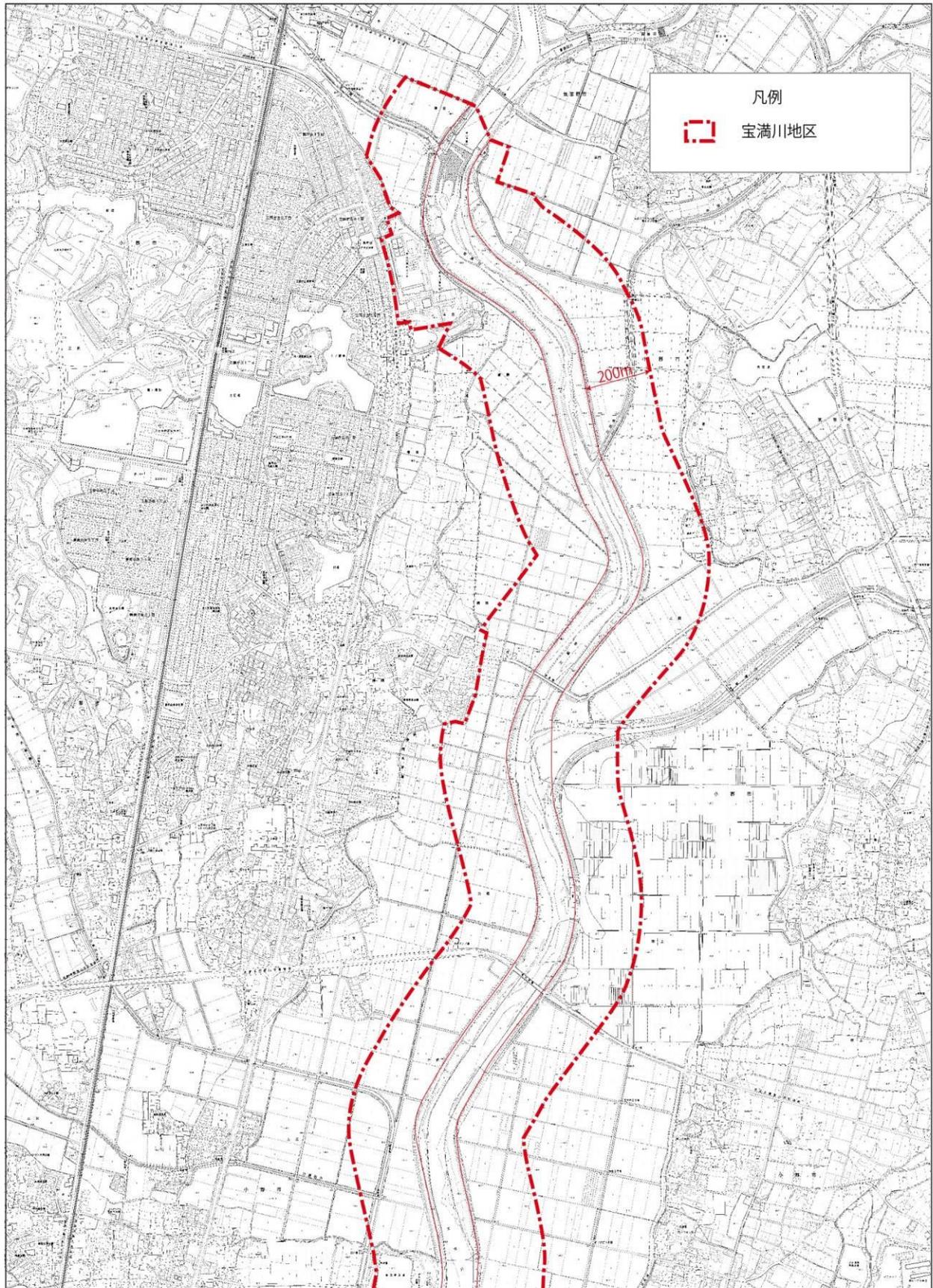


▲松崎地区 位置図

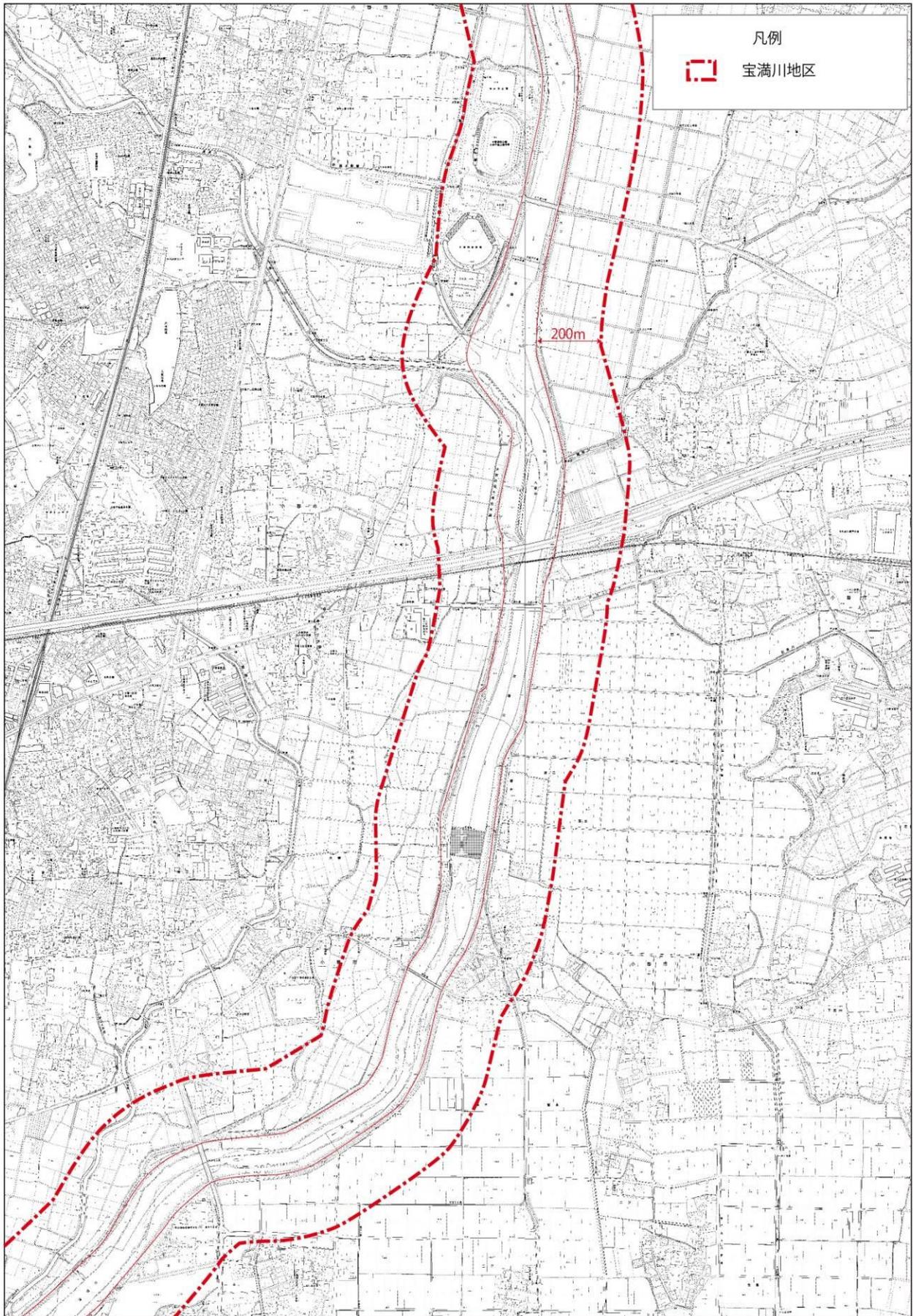
4) 宝満川地区

田園・集落地の景域の届出対象規模に準拠します。

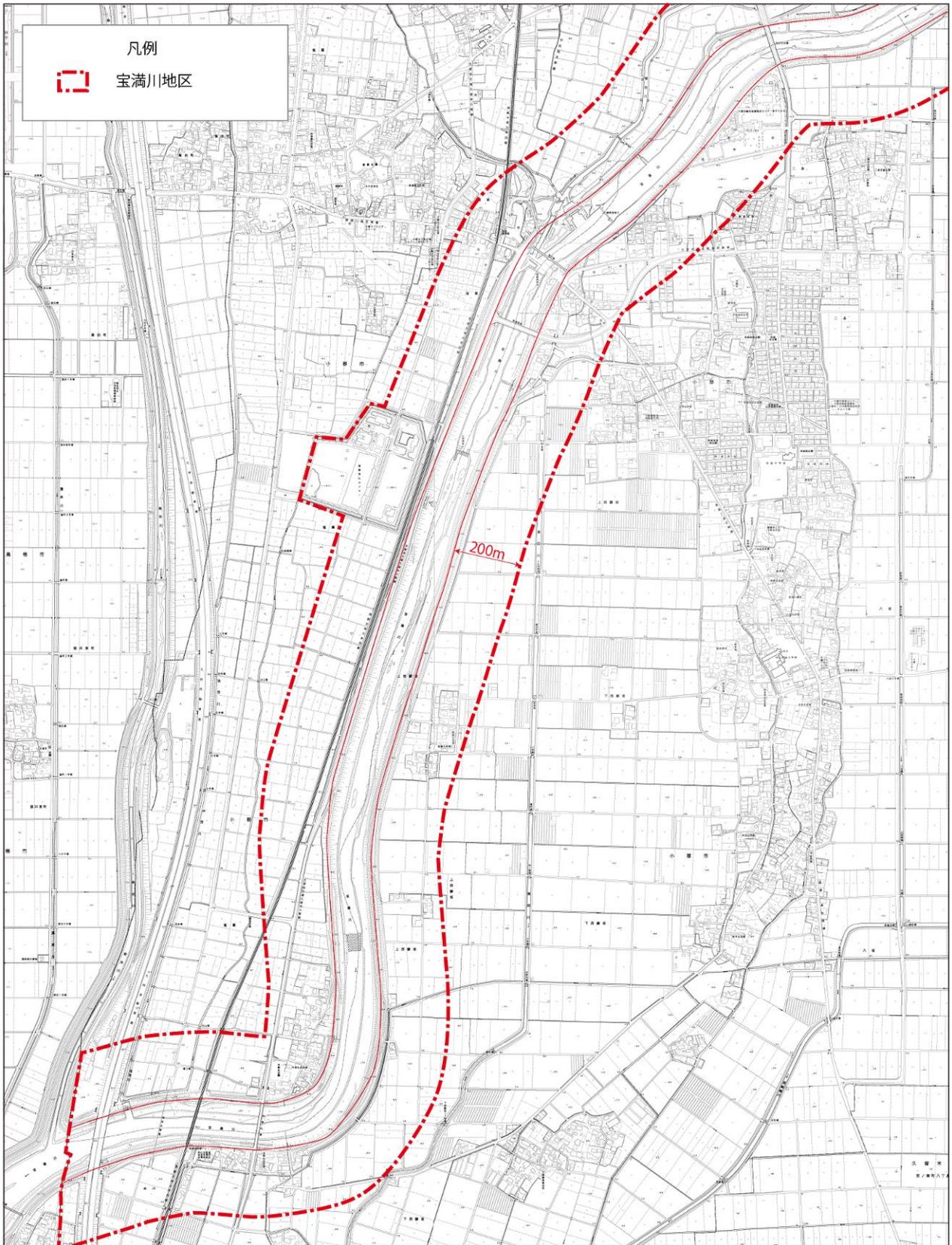
届出が必要な行為		対象規模
建築物	新築、増築、改築又は移転	建築物の行為に係る部分の延床面積の合計が 500 m ² 以上又は高さが 10m 以上のもの
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	上記の建築物で、外観変更に係る見付面積の合計が全体の見付面積の 1/2 以上のもの
工作物	新築、増築、改築又は移転	塔状工作物 製造施設、貯蔵施設、処理施設、遊戯施設、太陽光発電設備等
		垣、柵、塀、擁壁
		行為に係る工作物の高さが 10m 以上のもの
		行為に係る工作物の高さが 10m 以上又は築造面積が 500 m ² 以上のもの
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	上記の工作物で、外観変更に係る見付面積の合計が全体の見付面積の 1/2 以上のもの
(3) 都市計画法に基づく開発行為		行為に係る土地の面積の合計が 3,000 m ² 以上のもの
(4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更		行為に係る土地の面積の合計が 3,000 m ² 以上のもの
(5) 外観照明 夜間において一定の期間継続して建築物その他の工作物の外観について行う照明		届出対象建築物又は届出対象工作物の外観について照射する照明



▲宝满川地区 位置图①



▲宝满川地区 位置图②

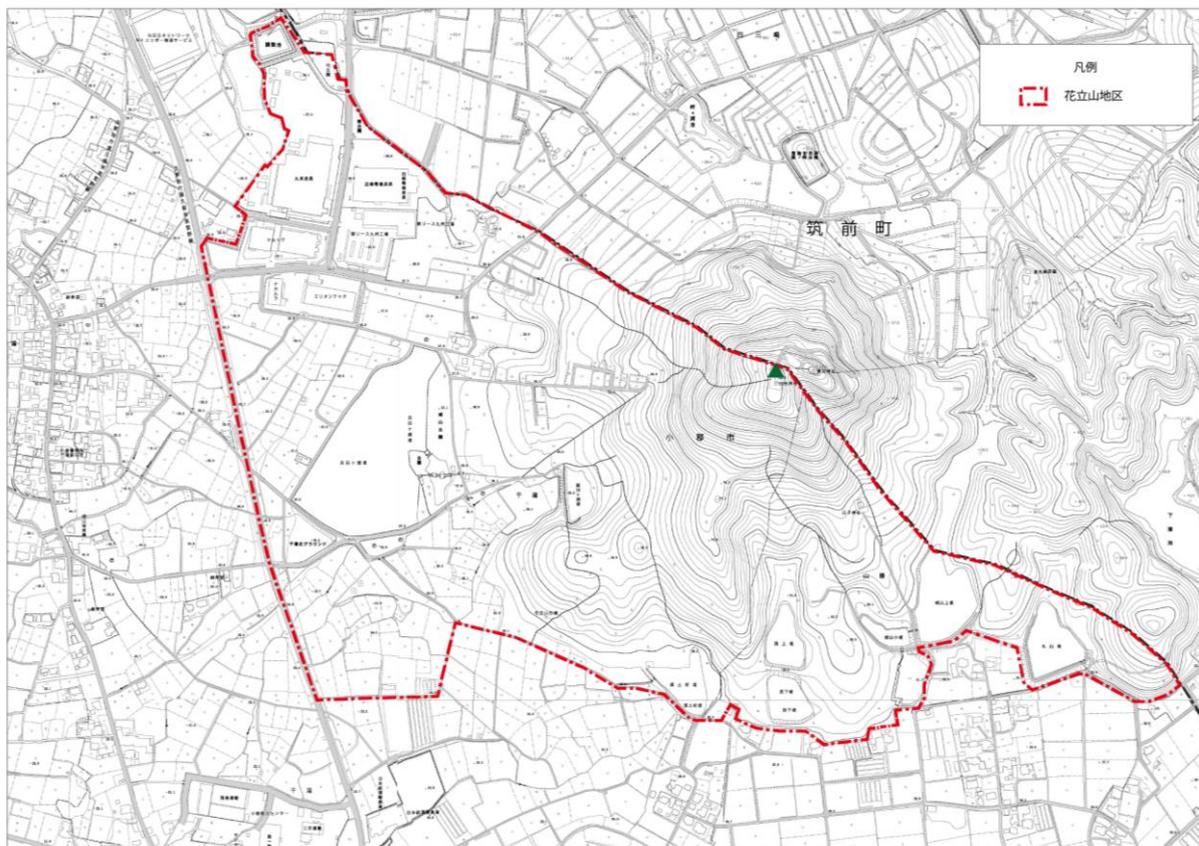


▲宝满川地区 位置图③

5) 花立山地区

本地区は市街化調整区域に位置しますが、樹林からなる緑の景観の保全を目的とした制限は現段階で行われていません。そのため、緑豊かな樹林地の適切な保全を図るためにも、届出対象は規模に関わらず全てのものとしします。

届出が必要な行為		対象規模
建築物	新築、増築、改築又は移転	規模に関わらず全てのもの
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	規模に関わらず全てのもの
工作物	新築、増築、改築又は移転	塔状工作物 規模に関わらず全てのもの
		製造施設、貯蔵施設、処理施設、遊戯施設、太陽光発電設備等 規模に関わらず全てのもの
		垣、柵、塀、擁壁 規模に関わらず全てのもの
		外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更 規模に関わらず全てのもの
(3) 都市計画法に基づく開発行為		規模に関わらず全てのもの
(4) 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更		規模に関わらず全てのもの
(5) 外観照明 夜間において一定の期間継続して建築物その他の工作物の外観について行う照明		届出対象建築物又は届出対象工作物の外観について照射する照明



▲花立山地区 位置図

5. 4 景域別の景観形成基準

市街地の景域

市街地の景域		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、街並みとの調和に配慮した配置とする。
	形態・意匠・色彩	<input type="checkbox"/> 商業系市街地では、多くの人々が集い賑わう場所の特性を踏まえ、周辺の建物や歩道・街路樹等の歩行者空間と調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地では、周囲から突出する奇抜なものは避ける。 <input type="checkbox"/> 歴史的な町並みを有する地区では、地区の特性に沿った形態・意匠とする。
	圧迫感の軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 6.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。 <input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場は可能な限り通りから見えない位置に配置する。通りから望見できる位置に配置する場合、平面駐車場・駐輪場は、緑化等（周囲や舗装面）により修景する。	
工作物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、街並みとの調和に配慮した配置とする。

工作物	形態・ 意匠・ 色彩	周辺との 調和	<input type="checkbox"/> 商業系市街地では、多くの人々が集い賑わう場所の特性を踏まえ、周辺の建物や歩道・街路樹等の歩行者空間と調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地では、周囲から突出する奇抜なものは避ける。 <input type="checkbox"/> 歴史的な町並みを有する地区では、地区の特性に沿った形態・意匠とする。
		設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。
		色彩	<input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
		外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。
開発行為・ 土地の形質 の変更等	造成等		<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。
	既存樹木・樹林等の 保全		<input type="checkbox"/> まとまった緑や雑木林、社寺林等は、できる限り維持・保全する。
外観照明・ 屋外照明	照度の抑制		<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。
	点滅照明		<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。
	照明器具		<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。

田園・集落地の景域

田園・集落地の景域		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、田園や集落地との調和に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 花立山山頂等主要な眺望点から見た場合に、眺望景観を阻害しないよう配置を工夫する。
	形態・意匠・色彩	<input type="checkbox"/> 周辺に広がる田園景観に調和するよう、低層の建築物を基本とする。 <input type="checkbox"/> ランドマークとなっている山や山並みと調和した形態・意匠とする。
	圧迫感の軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 4.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は明度 7.5 以下・彩度 4.0 以下 無彩色は明度 7.5 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。	
工作物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、田園や集落地との調和に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 花立山山頂等主要な眺望点から見た場合に、眺望景観を阻害しないよう配置を工夫する。

工作物	形態・ 意匠・ 色彩	周辺との 調和	<input type="checkbox"/> 周辺に広がる田園景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 <input type="checkbox"/> ランドマークとなっている山や山並みと調和した形態・意匠とする。
		設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。
		色彩	<input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。	
開発行為・ 土地の形質 の変更等	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。	
	既存樹木・樹林等の 保全	<input type="checkbox"/> 田園の中の一団にまとまった緑や雑木林、社寺林、河川や水路沿いの樹林や灌木、木竹等は、できる限り維持・保全する。	
外観照明・ 屋外照明	照度の抑制	<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。	
	点滅照明	<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。	
	照明器具	<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。	

丘の景域

丘の景域		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 緩やかに起伏する地形に馴染む配置とする。 <input type="checkbox"/> 花立山山頂等主要な眺望点から見た場合に、眺望景観を阻害しないよう配置を工夫する。
	形態・ 意匠・ 色彩	<input type="checkbox"/> ふもとの田園地域から見た際、脊振山系や丘陵地の稜線を切るような高層建築・大型建築はできるだけ避け、低層の建築物を基本とする。 <input type="checkbox"/> 脊振山系や丘陵地と馴染むよう、勾配屋根を設置する等、形態・意匠に配慮する。
	圧迫感の 軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、茶系や無彩色等周囲や背景の緑・自然景観に溶け込むような配色に努める。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 4.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は明度 7.5 以下・彩度 4.0 以下 無彩色は明度 7.5 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 敷地境界部（特に斜面側）では、できる限り多くの樹木や花壇等による植栽を施す。	
工作物	配置	<input type="checkbox"/> 緩やかに起伏する地形に馴染む配置とする。 <input type="checkbox"/> 花立山山頂等主要な眺望点から見た場合に、眺望景観を阻害しないよう配置を工夫する。
	形態・ 意匠・ 色彩	<input type="checkbox"/> 脊振山系や丘陵地と馴染む形態・意匠とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。

工作物	形態・ 意匠・ 色彩	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、茶系や無彩色等周囲や背景の緑・自然景観に溶け込むような配色に努める。 <input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等		<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 敷地境界部（特に斜面側）では、できる限り多くの樹木や花壇等による植栽を施す。
開発行為・ 土地の形質 の変更等	造成等		<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。
	既存樹木・樹林等の保全		<input type="checkbox"/> まとまった斜面地の樹林帯は、できる限り保全する。
外観照明・ 屋外照明	照度の抑制		<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。
	点滅照明		<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。
	照明器具		<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。

5.5 景観形成重点地区別の景観形成基準

小郡駅前地区

ア) 歴史的景観形成地区

歴史的景観形成地区		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林等に配慮し、これらを生かす配置とする。 <input type="checkbox"/> 歴史的建造物が面する通りについては、道路に面して建築や塀等が建ち並ぶ配置を基本とし、通りの町並みとの調和を図る。
	形態・意匠・色彩	<input type="checkbox"/> 歴史的資源や社寺林等の自然環境と調和した落ち着いた形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 主要な道路に面する建物の外壁面は、おおむね通りに面して連続性を確保する。やむを得ず建物を後退させる場合は、町並みを著しく損なわないよう垣・柵等を設ける。
	圧迫感の軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度4.0以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は明度7.5以下・彩度4.0以下 無彩色は明度7.5以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。 <input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場は可能な限り通りから見えない位置に配置する。通りから望見できる位置に配置する場合、平面駐車場・駐輪場は、緑化等（周囲や舗装面）により修景する。	

工作物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林等に配慮し、これらを生かす配置とする。 <input type="checkbox"/> 歴史的建造物が面する通りについては、道路に面して建築や塀等が建ち並ぶ配置を基本とし、通りの町並みとの調和を図る。	
	形態・意匠・色彩	周辺との調和	<input type="checkbox"/> 歴史的資源や社寺林等の自然環境と調和した落ち着いた落ち着きのある形態・意匠とする。
		設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。
	色彩	<input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。	
外構・緑化等		<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。	
開発行為・土地の形質の変更等	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。	
	緑化	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。	
	既存樹木・樹林等の保全	<input type="checkbox"/> まとまった緑や雑木林、社寺林等は、できる限り維持・保全する。	
外観照明・屋外照明	照度の抑制	<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。	
	点滅照明	<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。	
	照明器具	<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。	

イ) 賑わい景観創出地区

賑わい景観創出地区		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、地域の顔となるような魅力ある街並みの形成に配慮した建築物の配置とする。
	形態・意匠・色彩	<input type="checkbox"/> 駅前通りでは、多くの人々が集い賑わう場所の特性を踏まえ、建物の建ち並びや、歩道や街路樹等の歩行者空間と調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 低層部は街ゆく人が楽しめる開放感のあるデザインとする。特に西鉄小郡駅周辺では、路地の活用等、界隈性を演出する空間を確保する。 <input type="checkbox"/> 主要な道路に面する建物の外壁面は、おおむね通りに面して連続性を確保する。やむを得ず建物を後退させる場合は、街並みを著しく損なわないよう垣・柵等を設ける。
	圧迫感の軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。 <input type="checkbox"/> 夜間照明は、夜の賑わいを演出するようなものとする。ただし、閃光を発生するものや点滅するもの等の過度な照明は避ける。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 6.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。 <input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場は可能な限り通りから見えない位置に配置する。通りから望見できる位置に配置する場合、平面駐車場・駐輪場は、緑化等（周囲や舗装面）により修景する。	

工作物	配置	<input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、地域の顔となるような魅力ある街並みの形成に配慮した配置とする。	
	形態・ 意匠・ 色彩	周辺との 調和	<input type="checkbox"/> 駅前通りでは、多くの人々が集い賑わう場所の特性を踏まえ、建物の建ち並びや、歩道や街路樹等の歩行者空間と調和した形態・意匠とする。
		設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。
		色彩	<input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。	
開発行為・ 土地の形質 の変更等	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。	
	緑化	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。	
外観照明・ 屋外照明	照度の抑制	<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。	
	点滅照明	<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。	
	照明器具	<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。	

丘の上住宅地区

丘の上住宅地区		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 樹林地やため池等の自然環境の保全に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、街並みとの調和に配慮した配置とする。
	形態・ 意匠・ 色彩	<input type="checkbox"/> 商業系市街地では、多くの人々が集い賑わう場所の特性を踏まえ、周辺の建物や歩道・街路樹等の歩行者空間と調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地では、周囲から突出する奇抜なものは避ける。 <input type="checkbox"/> 背振山系や丘陵地と馴染むよう、勾配屋根を設置する等、形態・意匠に配慮する。
	圧迫感の 軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 4.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は明度 7.5 以下・彩度 4.0 以下 無彩色は明度 7.5 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	素材	<input type="checkbox"/> 建築物や工作物の素材は落ち着いた住宅地景観の形成を意識し、特に建築物の低層部や敷き際等は、木や石、土（レンガ）等の自然素材の使用に努める。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。 <input type="checkbox"/> 樹木の配置や樹種の構成に配慮し、できる限り高木等の設置に努める。特に人の目線を集めやすい場所等にシンボルツリーを配置する等街並みの演出を行う。 <input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場を配置する場合、緑化等（周囲や舗装面）により修景する。	

工作物	配置	<input type="checkbox"/> 樹林地やため池等の自然環境の保全に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 既存の建築物等の配置の特徴を把握し、街並みとの調和に配慮した配置とする。
	形態・ 意匠・ 色彩	<input type="checkbox"/> 商業系市街地では、多くの人々が集い賑わう場所の特性を踏まえ、周辺の建物や歩道・街路樹等の歩行者空間と調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地では、周囲から突出する奇抜なものは避ける。 <input type="checkbox"/> 脊振山系や丘陵地と馴染む形態・意匠とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。
	色彩	<input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。
開発行為・ 土地の形質 の変更等	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。
	緑化	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。
	既存樹木・樹林等の保全	<input type="checkbox"/> まとまった斜面地の樹林帯は、できる限り保全する。
外観照明・ 屋外照明	照度の抑制	<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。
	点滅照明	<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。
	照明器具	<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。

松崎地区

松崎地区		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮し、これらを生かす配置とする。 <input type="checkbox"/> かつての薩摩街道沿いで歴史的風情を残す場所については、道路に面して建築物や塀等が連なって建ち並ぶ配置を基本とし、通りの町並みとの調和を図る。
	形態・意匠・色彩	<input type="checkbox"/> 歴史的資源や桜馬場をはじめとする自然環境と調和した落ち着いた形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 周辺に広がる田園景観に調和するよう、低層の建築物を基本とする。 <input type="checkbox"/> 薩摩街道に面する建物の外壁面は、おおむね通りに面して連続性を確保する。やむを得ず建物を後退させる場合は、薩摩街道の町並みを著しく損なわないよう垣・柵等を設ける。
	圧迫感の軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 4.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は明度 7.5 以下・彩度 4.0 以下 無彩色は明度 7.5 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 前面道路に面して植栽を行う場合は、建築物や門・塀等による通りの景観との調和に配慮するとともに、薩摩街道の町並みに配慮した樹種を選定する。 <input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場は可能な限り通りから見えにくい位置に配置する。通りから望見できる位置に配置する場合、駐車場・駐輪場は、植栽や格子等により修景する。
工作物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> かつての薩摩街道沿いで歴史的風情を残す場所については、道路に面して建築物や塀等が連なって建ち並ぶ配置を基本とし、通りの町並みとの調和を図る。

工作物	形態・意匠・色彩	周辺との調和	<input type="checkbox"/> 歴史的資源や桜馬場をはじめとする自然環境と調和した落ち着いたのある形態・意匠とする。
	色彩	設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。
		色彩	<input type="checkbox"/> 薩摩街道に面する垣・柵は、落ち着いた色合いの低彩度色とし、薩摩街道の町並みと調和するような配色に努める。 <input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等		<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。
開発行為・土地の形質の変更等	造成等		<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。
	緑化		<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。
	既存樹木・樹林等の保全		<input type="checkbox"/> 田園の中の一団にまとまった緑や雑木林、社寺林、河川や水路沿いの樹林や灌木、木竹等は、できる限り維持・保全する。
外観照明・屋外照明	照度の抑制		<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。
	点滅照明		<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。
	照明器具		<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。

宝満川地区

宝満川地区		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮した配置とする。
	形態・意匠・色彩 周辺との調和	<input type="checkbox"/> 周辺に広がる田園景観に調和するよう、低層の建築物を基本とする。 <input type="checkbox"/> ランドマークとなっている山や山並みと調和した形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> 堤防等から俯瞰されることを踏まえ、周辺と調和するよう屋根の形状を工夫し、連続する河川景観の形成に配慮する。
	圧迫感の軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。 <input type="checkbox"/> 屋上に設備等を設置する場合には、周囲から目立たないように配置し、必要に応じて目隠し等の処理を行う。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 4.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は明度 7.5 以下・彩度 4.0 以下 無彩色は明度 7.5 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。	
工作物	配置	<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備、通信用移動鉄塔の設置を原則禁止する。 <input type="checkbox"/> 地域で古くから親しまれている歴史的な建造物や社寺林・雑木林等に配慮した配置とする。
	形態・意匠・色彩 周辺との調和	<input type="checkbox"/> 周辺に広がる田園景観に調和する形態・意匠とする。 <input type="checkbox"/> ランドマークとなっている山や山並みと調和した形態・意匠とする。

工作物	形態・ 意匠・ 色彩	設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。
		色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、茶系や無彩色等周囲や背景の緑・自然景観に溶け込むような配色に努める。 <input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等		<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 道路との境界部に垣・柵等を設置する際にはブロック塀は避け、できる限り生垣や緑化フェンスとする。垣・柵等を設置しない場合には、道路境界部にできるだけ多くの樹木や花壇等による植栽を施す。
開発行為・ 土地の形質 の変更等	造成等		<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。 <input type="checkbox"/> 十分に事前調査を行い、動植物の生息環境等の水辺環境に配慮する。
	土石類の採取		<input type="checkbox"/> 土石類の採取により、道路等の公共空間から見て地肌があらわれないものとする。
	物件の堆積		<input type="checkbox"/> 資材等を堆積させない。やむを得ず堆積する場合は、周囲を生垣等の目隠しによる修景を行う。
	緑化		<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。
	既存樹木・樹林等の保全		<input type="checkbox"/> 田園の中の一団にまとまった緑や雑木林、社寺林、河川や水路沿いの樹林や灌木、木竹等は、できる限り維持・保全する。
外観照明・ 屋外照明	照度の抑制		<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。
	点滅照明		<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。
	照明器具		<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。

花立山地区

花立山地区		景観形成基準
建築物	配置	<input type="checkbox"/> 緩やかに起伏する地形に馴染む配置とする。 <input type="checkbox"/> 花立山山頂等主要な眺望点から見た場合に、眺望景観を阻害しないよう配置を工夫する。
	形態・ 意匠・ 色彩	<input type="checkbox"/> ふもとの田園地域から見た際、脊振山系や丘陵地の稜線を切るような高層建築・大型建築は避け、低層の建築物とする。 <input type="checkbox"/> 脊振山系や丘陵地と馴染むよう、勾配屋根を設置する等、形態・意匠に配慮する。
	圧迫感の 軽減	<input type="checkbox"/> 大規模な建築物では、長大な壁面となることは避け、分節化する等、周囲に与える圧迫感の軽減に努めた形態とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 建築物等の裏側へ配置する等、道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を屋根又は外壁材として使用する場合は、その他屋根材又は外壁材と調和するものとする。
	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、茶系や無彩色等周囲や背景の緑・自然景観に溶け込むような配色に努める。 <input type="checkbox"/> 外壁基調色：有彩色は彩度 4.0 以下 <input type="checkbox"/> 屋根色：有彩色は明度 7.5 以下・彩度 4.0 以下 無彩色は明度 7.5 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
外構・緑化等	<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 敷地境界部（特に斜面側）では、できる限り多くの樹木や花壇等による植栽を施す。	
工作物	配置	<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備、通信用移動鉄塔の設置を原則禁止する。 <input type="checkbox"/> 緩やかに起伏する地形に馴染む配置とする。 <input type="checkbox"/> 花立山山頂等主要な眺望点から見た場合に、眺望景観を阻害しないよう配置を工夫する。
	形態・ 意匠・ 色彩	<input type="checkbox"/> 脊振山系や丘陵地と馴染む形態・意匠とする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から容易に目にする位置には設置しない。やむを得ず設置する場合には、目隠し等による措置を行い、周囲の景観に影響を与えないように配慮する。

工作物	形態・ 意匠・ 色彩	色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、茶系や無彩色等周囲や背景の緑・自然景観に溶け込むような配色に努める。 <input type="checkbox"/> 工作物の色：彩度 4.0 以下 ※自然石や土・木材等地域固有の自然素材や伝統的素材が使用される場合はこの限りでない。
	外構・緑化等		<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 敷地境界部（特に斜面側）では、できる限り多くの樹木や花壇等による植栽を施す。
開発行為・ 土地の形質 の変更等	造成等		<input type="checkbox"/> 既存の地形を生かした造成に努める。 <input type="checkbox"/> 切土・盛土は最小限に抑える。 <input type="checkbox"/> 面的な一団の開発等に伴う法面・擁壁は、長大なものは避け、圧迫感のないように配慮する。やむを得ず長大となる場合には、緑化等による修景を行う。
	土石類の採取		<input type="checkbox"/> 土石類の採取により、道路等の公共空間から見て地肌があらわれないものとする。
	物件の堆積		<input type="checkbox"/> 資材等を堆積させない。やむを得ず堆積する場合は、周囲を生垣等の目隠しによる修景を行う。
	緑化		<input type="checkbox"/> 道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。
	既存樹木・樹林等の保全		<input type="checkbox"/> まとまった斜面地の樹林帯は、できる限り保全する。
外観照明・ 屋外照明	照度の抑制		<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。
	点滅照明		<input type="checkbox"/> 点滅照明は設置しない。
	照明器具		<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。

5.6 沿道景観保全ゾーンの指定について

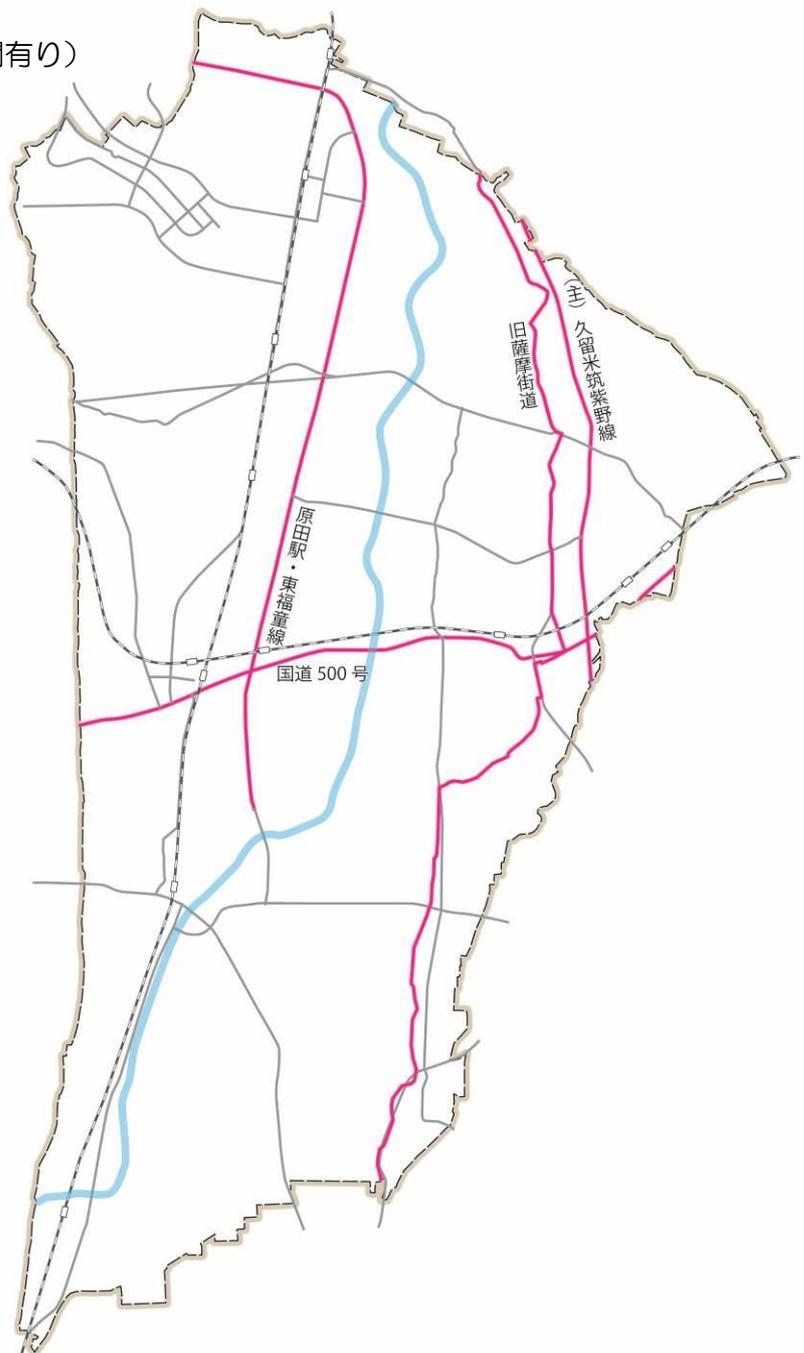
筑後川流域では、流域内を結ぶ主要な幹線道路の沿道において、広がりのある田園景観や山並みへの眺めを保全するとともに、市街地における沿道の連続する街並みへの配慮を求めるために、「筑後川流域景観計画」において「沿道景観保全ゾーン」を指定しています。

本市においても、幹線道路等の沿道景観について、福岡県をはじめ関係市町等と連携した景観形成を進めていくために「沿道景観保全ゾーン」を指定するものとします。

【区域】 以下に示す道路端から沿道 30mの範囲

※ただし、景観形成重点地区に指定されている区域は除く

- 国道 500 号
- 主要地方道久留米筑紫野線
- 都市計画道路原田駅東福童線
- 旧薩摩街道（一部現存しない区間有り）



□国道 500 号

沿道景観保全ゾーン		景観形成基準
建築物・ 工作物	配置	□通りに面して商店や住宅等が建ち並び賑わいを創出している現況を踏まえ、道路や歩道からの見え方や周辺の建築物・工作物の位置関係に配慮した配置とする。
開発行為・ 土地の形質 の変更等	外構・緑化等	□道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。

□主要地方道久留米筑紫野線

沿道景観保全ゾーン		景観形成基準
建築物・ 工作物	配置	□広大な田園が周囲に広がる状況を踏まえ、道路からの見え方や周辺の建築物・工作物の位置関係に配慮した配置とする。
	形態・ 意匠	眺望景観 への配慮
開発行為・ 土地の形質 の変更等	外構・緑化等	□道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。

□都市計画道路原田駅東福童線

沿道景観保全ゾーン		景観形成基準
建築物・ 工作物	配置	□歩道・街路樹が連続した通りに面して商店や住宅等が建ち並び現況を踏まえ、道路や歩道からの見え方や周辺の建築物・工作物の位置関係に配慮した配置とする。
開発行為・ 土地の形質 の変更等	外構・緑化等	□道路等の公共の場から敷地の全容を容易に見ることができる駐車場や資材置き場では、敷地境界部に多くの樹木や花壇等による植栽を施す等潤いある景観の形成に配慮する。

□旧薩摩街道

沿道景観保全ゾーン		景観形成基準
建築物・ 工作物	配置	□街道沿いの町並みや歴史的建造物への眺望を阻害することのない配置とする。
	形態・ 意匠	周辺との 調和